



日本災害情報学会 第 13 回学会大会プログラム —名古屋大学 IB 電子情報館—



| | | |
|----------------------|---------------|-------------------------------|
| 10月29日(土) 受付開始 8時45分 | | |
| 研究発表会 | 9時30分～11時40分 | IB電子情報館 A会場(IB014)、B会場(IB015) |
| 昼休み | 11時40分～13時00分 | |
| (理事会) | | (ES総合館4階431) |
| 記念シンポジウム | 13時00分～15時30分 | IB電子情報館 IB大講義室(一般公開) |
| 廣井賞授賞式・講演 | 15時45分～16時45分 | IB電子情報館 IB大講義室(一般公開) |
| 総会 | 17時00分～18時00分 | IB電子情報館 IB大講義室 |
| 懇親会 | 18時30分～20時00分 | レストラン花の木(キャンパス内) |
| 10月30日(日) 受付開始 8時30分 | | |
| 研究発表会 | 9時00分～12時10分 | IB電子情報館 A会場(IB014)、B会場(IB015) |
| 昼休み | 12時10分～13時10分 | |
| 研究発表会 | 13時10分～17時00分 | IB電子情報館 A会場(IB014)、B会場(IB015) |

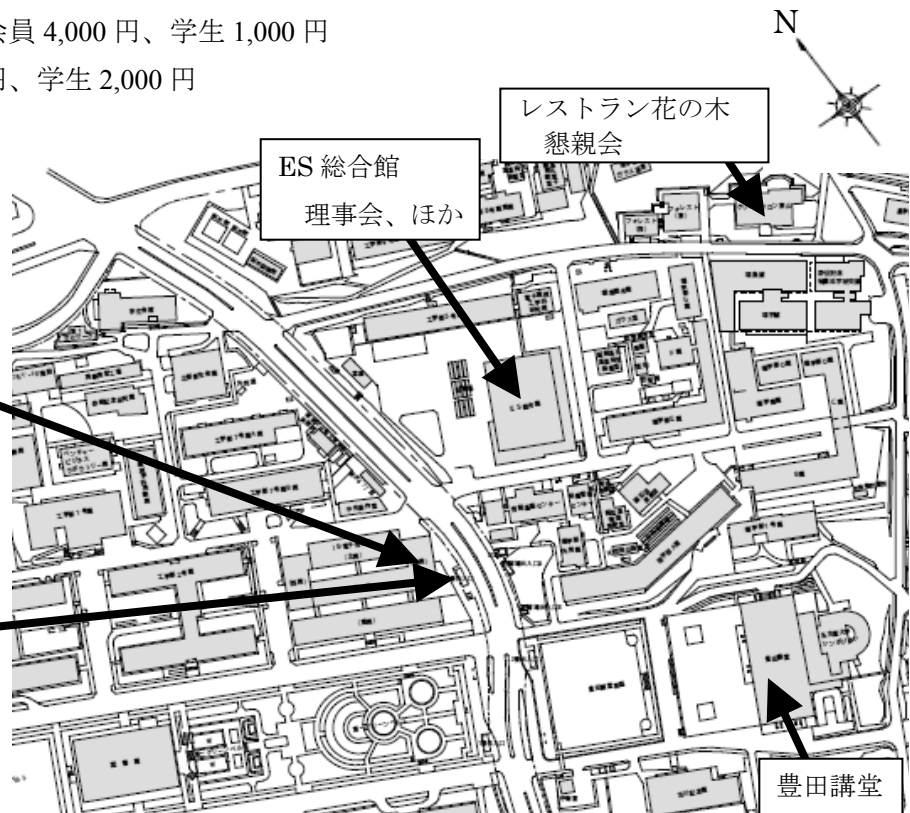
会場 : 名古屋大学東山キャンパス(名古屋市千種区不老町) IB電子情報館ほか
 名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車、3番出口途中の西地区連絡通路へ
 ・JR・名鉄・近鉄「名古屋駅」から名古屋市営地下鉄東山線藤が丘行き乗車、本山駅で名城線右回り八事方面に乗り換え、名古屋大学駅下車。所要時間約30分。
 ・キャンパス内および周辺には一般駐車場はありません

参加費 : 会員 1,000 円、非会員 3,000 円、学生 1,000 円
予稿集代 : 会員 2,000 円、非会員 4,000 円、学生 1,000 円
懇親会費 : 会員・一般 4,000 円、学生 2,000 円

名古屋大学
東山キャンパス

IB電子情報館
研究発表
記念シンポジウム
廣井賞授賞式・講演
総会

地下鉄駅3番出口



【研究発表】9:30~11:40

A会場 (IB014)

A-1 風水害 (1)

(座長: 高橋裕輔)

- 9:30 災害シナリオ提示型住民避難意向調査の提案 ~首都圏大規模水害における広域避難を事例に~
児玉 真 (㈱IDA 社会技術研究所)
- 9:42 浸水特性に応じた住民の対応行動を誘導するハザードマップの開発 ~立ち退き避難を前提とした住民避難誘導の限界に着目して~
島 晃一 (㈱IDA 社会技術研究所)
- 9:54 名古屋圏の水害に備えた危機感共有の取り組み ~名古屋水防災情報共有推進連携会議の取組状況について~
高橋裕輔 (国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所)
- 10:06 平成23年7月新潟福島豪雨災害における情報伝達と避難対応の特徴
宇野宏司 (神戸市立工業高等専門学校都市工学科)
- 10:18 平成23年7月新潟・福島豪雨における流域雨量指数の水害との対応 一水害軽減に向けた流域雨量指数の有効性の検討
太田琢磨 (気象庁予報部予報課気象防災推進室)

A-2 風水害 (2)、土砂災害、防災対策

(座長: 谷口綾子)

- 10:40 大雨に係る防災気象情報の利活用状況と気象庁の取り組み
向井利明 (気象庁予報部予報課気象防災推進室)
- 10:52 大都市大規模水害を対象とした避難対策に関するシミュレーション分析
桑沢敬行 (㈱IDA 社会技術研究所)
- 11:04 地域発信型地域気象情報について
竹之内健介 (京都大学大学院情報学研究所)
- 11:16 土砂災害避難リスク・コミュニケーション・プログラムの行動誘発効果 ~鹿児島県さつま町の事例~
谷口綾子 (筑波大学大学院)
- 11:28 防災関連学会の研究分野動向分析に関する検討
近藤伸也 (東京大学生産技術研究所)

B会場 (IB015)

B-1 防災教育

(座長: 新井伸夫)

- 9:30 実務者向け国際防災技術情報データベースの運用: Disaster Reduction Hyperbase
根岸弘明 ((独)防災科学技術研究所)
- 9:42 防災情報システムを導入した地方自治体の実務者研修に対するBECAUSEモデルの提案と適用
鈴木猛康 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)
- 9:54 実世界Edutainmentによる地震・津波防災教育とその試行
光原弘幸 (徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部)
- 10:06 事前対策の実施促進を目的とした地震災害疑似体験ウェブ・アプリケーションの開発
新井伸夫 (日本気象協会)
- 10:18 防災ラジオドラマによるリスクシナリオの創造と理解 一東日本大震災の災害対応におけるシナリオの効果一
坪川博彰 ((独)防災科学技術研究所)

B-2 危機管理

(座長: 鍵屋 一)

- 10:40 建設業の事業継続計画 (BCP) 策定支援による地域継続力向上方策の提案
磯打千雅子 (香川大学危機管理研究センター)
- 10:52 東日本大震災発生時の工場や社会福祉施設等の初動対応
中野 晋 (徳島大学環境防災研究センター)
- 11:04 東北地方太平洋沖地震における東京ガスの対応について ~超高密度地震防災システム“SUPREME”を軸とした初動措置~
猪股 渉 (東京ガス㈱防災・供給部)
- 11:16 避難訓練の社会史 一避難訓練の歴史の変遷と想定災害一
作間 敦 (環境防災総合政策研究機構)
- 11:28 特別支援学校における事業継続計画 (BCP) 作成の研究
鍵屋 一 (板橋区役所)

昼休み 11:40~13:00

10月29日（土）午後 名古屋大学 IB 電子情報館 2階 IB 大講義室

一般公開行事 受付開始 12:15

【大会記念シンポジウム】13:00～15:30

「東日本大震災を地元メディアはどう伝えたか ～来るべき南海トラフ巨大地震に備えて～」

基調報告① 河北新報 震災取材班 古関良行

基調報告② 東日本放送 編集長 山口則之

総合討論 古関良行（前掲）、山口則之（前掲）、
武居信介（中京テレビ）、五十嵐信裕（名古屋テレビ）、中村禎一郎（中日新聞）
討論コーディネータ：隈本邦彦（名古屋大学減災連携研究センター）

【廣井賞授賞式・受賞記念講演】15:45～16:45

学術的功績分野 片田敏孝氏（群馬大学教授、群馬大学広域首都圏防災研究センター長）

一般公開行事終了 16:45

【総会】17:00～18:00

【懇親会】18:30～20:00 レストラン花の木（キャンパス内）

第13回大会実行委員会

委員長：福和伸夫（名古屋大学）
委員：飛田 潤（名古屋大学）
護 雅史（名古屋大学）
山中佳子（名古屋大学）
清水美帆（名古屋大学）
隈本邦彦（江戸川大学・名古屋大学）
高橋裕輔（国土交通省中部地方整備局）
宇佐見比呂志（愛知県）
奥野真行（三重県）
安藤英之（岐阜県）
木全誠一（名古屋市）
武居信介（中京テレビ）
五十嵐信裕（名古屋テレビ）
中村禎一郎（中日新聞）
栗田暢之（レスキューストックヤード）
関口威人（レスキューストックヤード）
事務局：中村信郎（事務局長）
松尾一郎（事務局次長）
天野 篤（アジア航測）



名古屋大学 IB 電子情報館

【研究発表】9:00~12:08

A会場 (IB014)

A-3 地震災害(1)、火山災害

(座長: 中森広道)

- 9:00 アイスランドの噴火とその対応 2010年 Eyjafjallajökull 火山噴火の現地調査結果と2011年 Grímsvötn 火山噴火
新堀賢志 (CeMI 環境・防災研究所)
- 9:12 伊豆東部火山群における地震と火山の防災情報 ~地震活動の予測情報と噴火警戒レベルについて~
横田 崇 (気象研究所)
- 9:24 地震学の限界と地震災害情報
瀬瀬一起 (東京大学地震研究所)
- 9:36 地震観測情報を活用した既往地震の被害情報の活用
長屋和宏 (国土技術政策総合研究所)
- 9:48 意識調査から考える「東日本大震災」と緊急地震速報 -いわゆる「適切ではない緊急地震速報」に関する住民の評価-
中森広道 (日本大学文理学部社会学科)

A-4 地震災害(2)

(座長: 廣井 悠)

- 10:10 東日本大震災における市区町村の支援活動について
黒田洋司 ((財) 消防科学総合センター)
- 10:22 東日本大震災におけるボランティア活動に関する意識調査
中野健秀 (大阪国際大学現代社会学部)
- 10:34 東北地方太平洋沖地震による大学生の防災意識の変化に関する調査
行場絵理奈 (東北大学大学院情報科学研究科)
- 10:46 発達障害情報センターにおける東日本大震災時の情報提供 -「災害時の発達障害児・者支援について」のウェブサイト掲載について-
東江浩美 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所発達障害情報センター)
- 10:58 東日本大震災における首都圏の帰宅困難者の実態 -災害情報に注目して-
廣井 悠 (東京大学)

B会場 (IB015)

B-3 災害報道(1)

(座長: 宇田川真之)

- 9:00 3.11 首都圏情報を伝え続けた在京ラジオ局 ~初の「ラジオ・ライフラインネットワーク」を放送~
渡辺 実 (株まちづくり計画研究所)
- 9:12 東日本大震災における臨時災害放送局の活動状況について 自治体による新規開局事例の悉皆調査結果
宇田川真之 (人と防災未来センター)
- 9:24 【東日本大震災】 宮城県のコミュニティ・エフエム放送局初動対応
三島和子 (セコム IS 研究所)
- 9:36 【東日本大震災】 宮城県の県域ラジオ放送局初動対応
天野 篤 (アジア航測(株))
- 9:48 【東日本大震災】 宮城県のラジオ放送が果たした役割
藤吉洋一郎 (大妻女子大学)

B-4 災害報道(2)

(座長: 鈴木猛康)

- 10:10 東日本大震災の津波来襲時における社会的なリアリティ ~NHKの緊急報道を中心としたメディア・イベント分析~
近藤誠司 (京都大学大学院情報学研究科)
- 10:22 2011年東日本大震災直後のテレビ報道の基礎的分析 「効果的な災害対応に貢献する報道モデル」の構築に向けて
沼田宗純 (東京大学生産技術研究所)
- 10:34 東日本大震災における災害情報を考える -福島第一原発事故の情報発信から-
安富 信 (大阪読売サービス(株) 編集制作本部)
- 10:46 地域社会における災害情報チャンネルとインフォーマルな社会的関係に関する考察 -鹿児島県垂水市における事例をもとに-
亀田晃一 (鹿児島大学)
- 10:58 東日本大震災における政府の情報発信に関する分析 -行政からの災害情報発信に関する基本原則の検討-
鈴木猛康 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)

A-5 地震災害（3）

（座長：翠川三郎）

- 11:20 東日本大震災における火災の調査と被害状況
坂本憲昭（東京大学）
- 11:32 2011 年東北地方太平洋沖地震による被害に関する消防の視点からの第一次調査結果について
座間信作（消防庁消防研究センター）
- 11:44 2011 年東日本大震災における液化化地区の推定 —東京ガス地震防災システム「SUPREME」によるリアルタイム推定と実績の比較—
乗藤雄基（東京ガス(株)防災・供給部）
- 11:56 地震時室内被害軽減のための集客施設での防犯カメラ映像の収集と分析
—東日本大震災での事例—
翠川三郎（東京工業大学）

B-5 防災情報（1）

（座長：横田 崇）

- 11:20 危機対策における防災システムの導入とあり方
内山敬介（静岡県危機管理部危機政策課）
- 11:32 時空間地理情報システムを用いた自主防災組織と自治体との安否確認情報の連携処理に関する一考察 ～由利本荘市旭町での意識調査と防災訓練を事例として～
浅野耕一（秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科）
- 11:44 震災時の交通関連情報の収集と共有に関する一考察
八木浩一（災害時交通流監視システム研究会）
- 11:56 「東海地震に関連する情報」について
横田 崇（気象研究所）

昼休み 12:10～13:10

10月30日（日）午後 名古屋大学 IB 電子情報館 1階 A・B会場（発表8分、質疑4分）

【研究発表】13:10～16:54（A会場は15:44まで）

A-6 津波災害（1）

（座長：関谷直也）

- 13:10 保育園児と一緒に避難すれば助かったのに —毎月の避難訓練の義務化—
伯野元彦（東京大学名誉教授）
- 13:22 東日本大震災における津波避難 聞き取り調査から避難成否の要因を探る
中村 功（東洋大学社会学部）
- 13:34 東日本大震災 名取市被害状況についての—考察
桜井誠一（神戸市役所）
- 13:46 東日本大震災における津波対策の効果に関する実態について ～宮古市田老地区の報告～
小松幸夫（(財)消防科学総合センター）
- 13:58 住民・消防団員・民生委員の津波防災行動から見る減災社会システムの課題と今後 ～岩手県宮古市田老地区の住民・消防団員・民生委員の調査から～
松尾一郎（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構）
- 14:10 津波災害時の避難行動 —気仙沼市・宮古市での調査を中心に—
関谷直也（東洋大学社会学部）

（休憩時間がA会場とB会場で異なります）

B-6 防災情報（2）

（座長：長坂俊成）

- 13:10 giSight を用いた防災システムの開発（第2報）
森山聡之（崇城大学エコデザイン学科）
- 13:22 東日本大震災におけるeコミュニティプラットフォームを活用した被災地情報支援 その1～東日本大震災協働情報プラットフォーム「ALL311」を中心とした災害情報の集約～
須永洋平（(独)防災科学技術研究所）
- 13:34 東日本大震災におけるeコミュニティプラットフォームを活用した被災地情報支援 その2～被災地災害対応における相互運用型WebGISの有効性～
田口 仁（(独)防災科学技術研究所）
- 13:46 東日本大震災におけるeコミュニティプラットフォームを活用した被災地情報支援 その3～被災地における災害ボランティアセンターでの災害情報活用と課題～
李 泰榮（(独)防災科学技術研究所）
- 13:58 東日本大震災におけるeコミュニティプラットフォームを活用した被災地情報支援 その4～災害と復興を記録する「311まるごとアーカイブス」～
長坂俊成（(独)防災科学技術研究所）

(休憩時間が A 会場と B 会場で異なります)

A-7 津波災害 (2)

(座長: 大木聖子)

- 14:32 タイムスタンプデータによる津波到達直前の陸前高田市内の状況推定
牛山素行 (静岡大学防災総合センター)
- 14:44 情報に依存した津波避難からの脱却
—2011 年東北地方太平洋沖地震津波と 2010 年チリ地震津波の比較—
金井昌信 (群馬大学広域首都圏防災研究センター)
- 14:56 漁船の津波沖出し行動に関するルール策定効果の検証 —2011 年東北地方太平洋沖地震津波襲来時の根室市落石漁協の対応を事例に—
村澤直樹 (群馬大学大学院工学研究科)
- 15:08 南米・ガラパゴス諸島における東北地方太平洋沖地震津波の情報伝達と避難行動
入江さやか (NHK報道局災害・気象センター)
- 15:20 平成 23 年東北地方太平洋沖地震による津波災害と特定利用斜面保全事業
道畑亮一 ((財)砂防・地すべり技術センター)
- 15:32 巨大津波が西日本の住民にもたらしたリスク判断の逆説的影響
大木聖子 (東京大学地震研究所)

(A 会場は 15:44 終了)

B-7 防災情報 (3)

(座長: 福島隆史)

- 14:20 避難行動モデルに基づいた携帯情報端末を用いた避難行動の評価
浅見圭貴 (東京理科大学大学院)
- 14:32 東日本大震災における緊急地震速報とオンサイト地震警報機
山口耕作 (株シグネット)
- 14:44 無線 LAN を用いた自律型ネットワークを活用する災害情報システムの開発
井上隆司 (東京理科大学大学院)
- 14:56 共助を支援する防災マップシステムの提案 ~目的地へ到達するパスの妥当性からの評価~
鈴木积規 (専修大学ネットワーク情報学部)
- 15:08 東日本大震災と twitter —自治体の“つぶやき”から災害情報伝達手段としての適性を探る—
福島隆史 (TBSテレビ報道局)

B-8 防災対策

(座長: 秦 康範)

- 15:30 災害応援協定に基づく災害応急対策の支援に関する調査
高橋和雄 (長崎大学大学院)
- 15:42 一人の目で見た災害状況「東北地方太平洋沖地震」
今村隆正 (株防災地理調査)
- 15:54 長野県北部地震 (栄村大震災) における栄村の災害対応について (報告)
齋藤 泰 ((財)消防科学総合センター)
- 16:06 集落の孤立防止対策について —ヘリコプターによる救難サインの確認—
池田吉男 (埼玉県飯能市)
- 16:18 全国ウェブ調査に基づく防災対策の現状と課題
上野卓哉 (兵庫県立大学応用情報科学研究科)
- 16:30 避難の全体像
指田朝久 (東京海上日動リスクコンサルティング株式会社)
- 16:42 地震時の地域の安否確認を目的とした発災対応型訓練
秦 康範 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)

【閉 会】16:55 B 会場 (IB015) 挨拶: 福和伸夫 第 13 回大会実行委員長